

Scouting Ibaraki

2014 vol.39

茨城県連盟「平成26年度活動方針」決まる



さる 6月 1日、青少年会館 2F 大研修室において、平成 26 年度茨城県連盟年次総会が開催された。

総会に先立ちボーイスカウト振興国会議員連盟、ボーイスカウト振興茨城議員連盟、および友好団体代表者等多数ご臨席の中で県連盟表彰式が行われ、感謝章、感謝状、褒状、日々の善行賞、県連特別有功章、県連有功章およびトレーニングチーム退任感謝状がそれぞれ贈呈された。

総会は冒頭、物故者への默祷を行い、定足数の確認の後に水戸 8 団の友部昭男氏を議長、日立 6 団の西原功氏を副議長に選出して基本方針と具体的な施策が審議された。また、各種委員会等からはそれぞれの活動計画が提案され、すべての議案が提案通りに承認された。

26 年度の事業計画

スローガン 「スカウト運動の理解と啓発に努め、スカウトの活動を拡大・充実しよう」

- 重点目標
1. 標準団(隊)を目指してスカウトの確保と活動の充実を図る。
 2. 世界で活躍できる人材の育成を目指す。
 3. 「日々の善行」運動を県民運動に発展させる。

特記事項 日本連盟野営場「大和の森」高萩スカウトフィールドの整備、活用に積極的に協力する。

ボイスカウト振興茨城議員連盟総会開催される

平成26年度ボイスカウト振興茨城議員連盟総会が6月4日に茨城県議会大会議室において行われた。来賓として県連盟名誉連盟長でもあります橋本県知事および小野寺教育長のご臨席のもと、佐野副連盟長、維持財団から立原理事長ほか3名、県連役員からは山田理事長ほか10、指導者10名が出席した。

総会は桜井富夫会長の議事進行によって行われ、議案はすべて原案通り可決された。議事終了後、議員連盟から県連盟と維持財団にそれぞれ助成金が贈呈された。本年は特に「大和の森」高萩スカウトフィールドへの体験事業のための費用が加えられた。県連盟の取り組みについては山田理事長より、パワーポイントによる説明がなされた。

平成26年度のボイスカウト振興茨城議員連盟の役員および会員の皆様は次の通りです。(平成26年6月4日現在)



会長	桜井 富夫	(石岡市)	田山 東湖	(東茨城郡南部)	村上 典男	(笠間市)
副会長	長谷川修平	(日立市)	磯崎久喜雄	(ひたちなか市)	神達 岳志	(常総市)
	井手 義弘	(日立市)	細谷 典幸	(稲敷市)	志賀 秀之	(北茨城市)
	小川 一成	(守谷市)	藤島 正孝	(潮来市)	石塚仁太郎	(坂東市)
監事	飯塚 秋男	(下妻市)	菊池 敏行	(日立市)	先崎 光	(那珂市)
	伊沢 勝徳	(土浦市)	森田 悅男	(古河市)	島田 幸三	(小美玉市)
幹事長	白田 信夫	(桜川市)	川津 隆	(水戸市)	宮崎 勇	(筑西市)
幹事長代理	山岡 恒夫	(牛久市)	常井 洋治	(笠間市)	鈴木 将	(つくば市)
事務局長	館 静馬	(水戸市)	飯岡 英之	(つくば市)	齋藤 英彰	(日立市)
事務局次長	石田 進	(神栖市)	福地源一郎	(日立市)	設楽詠美子	(筑西市)
幹事	萩原 勇	(龍ヶ崎市)	荻津 和良	(東茨城郡南部)	八島 功男	(土浦市)
	加藤 明良	(水戸市)	横山 忠市	(行方市)	川口 政弥	(取手市)
	下路健次郎	(那珂郡)	鈴木 亮寛	(つくばみらい市)	細谷 典男	(取手市)
	星田 弘司	(つくば市)	石井 邦一	(常陸太田市)	大谷 明	(ひたちなか市)
	鈴木 定幸	(常陸大宮市)	佐藤 光雄	(水戸市)	中村 修	(取手市)
	外塙 潔	(かすみがうら市)	青山 大人	(土浦市)	稻葉 貴大	(古河市)
会員	海野 透	(ひたちなか市)	高崎 進	(水戸市)	岡田 拓也	(高萩市)
	石川 多聞	(水戸市)	田村けい子	(つくば市)	田口 伸一	(鹿嶋市)
	葉梨 衛	(稲敷郡北部)	戸井田和之	(石岡市)		
	西條 昌良	(神栖市)	西野 一	(常陸太田市)		

平成26年度 日本連盟全国大会

日時／平成26年5月24日(土)・25日(日)
会場／和歌山県和歌山市 和歌山県民文化会館

日本連盟主催全国大会が和歌山県民文化会館で開催され、全国からスカウト関係者660人が集まった。

開会に先立って、韓国大型旅客船セウォル号転覆事故の犠牲者に対して黙とうを行った。

奥島日本連盟理事長から、ゼロからの出発を強調し、指導者は背後を見るのではなく、前を見て頑張ってほしいとの挨拶があった。茨城県連盟から山田理事長、橋本長老ら5名が参加した。

茨城県連盟関係の表彰者 「日本連盟表彰者名簿から抜粋」

日連感謝状	関彰商事株式会社
たか章	富田光紀(取手1団)
かつこう章	杉浦一弘(取手1団)
組織拡充目標達成団	水戸8団/古河1団/つくば1団
団50年章授与	笠間1団/筑西1団 石岡2団/龍ヶ崎1団

団委員長セミナーが行われ、各地区より31名が参加

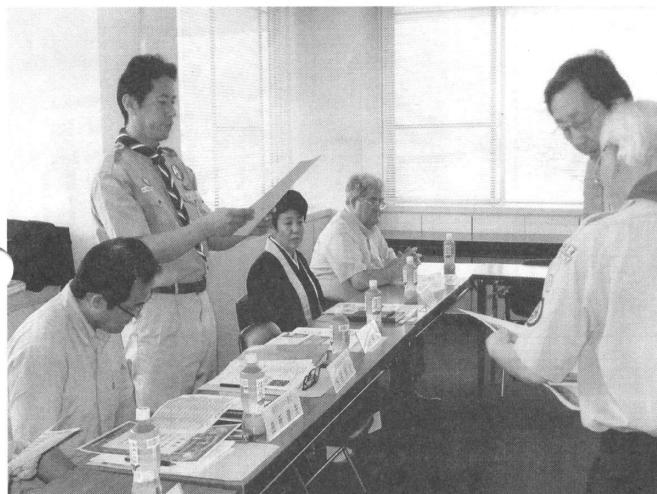
6月29日、県立青少年会館2F大研修室において県連盟総務委員会の主催による「団委員長セミナーが開催された。宮田県コミッショナーより、日本連盟よりのBVS、CS部門のプログラム変更による4月上進への移行パターンの提示があった。また、吉川委員長から、23WSJ派遣隊の編成と支援について説明があった。併せてイギリス隊80名のホームステイプログラムへの対応も議論された。

宗教者との懇話会が開催される

さる6月19日、県立青少年会館3F談話室において、各宗派の宗教者と県連盟役員、信仰奨励専門委員による「宗教者との懇話会」が開催された。冒頭、山田理事長より、県連盟と宗教者が一堂に会する事は初めてであり、大変有意義なことであると挨拶された。寺内信仰奨励専門委員長から「宗教章授与基準」の解説に続き、教導職の委嘱状が授与された。

懇話会の中で、川又巳三男氏（カトリック日立教会・主任司祭）からは「他宗派から学ぶものもあり、それを尊重することも必要」との発言があった。また、矢作博史氏（常磐神社・櫛宜）からの「そなえよつねに」は死に直面したとき、心おきなく、心の準備をすることであり、それを支えるのが宗教でもあるとの意見に一同納得した。

宗教章を富士章取得の手段とすることではなく、宗教を正しく理解することが重要であり、指導者も正しく理解した上でスカウトを指導することが必要であるとの結論に至り、和やかなうちに閉会した。



わが親愛なるスカウト諸君

もし君達が「ピーター・パン」の劇を見たことがあるなら、……（略）しかし幸福を得る真実の方法は、他の人々に幸福を分かち与えることなのです。君が生まれた時より、この世をほんの少しでもよくすれば、死に臨んだ時には、ともかく自分の時間を無駄にせず、最善を尽くせた、と感じつつ、幸福に死ぬことができます。この様に幸福に生き、幸福に死ぬ人生のために「そなえよつねに」—君達自身がたてた「ちかい」をしっかりと守って—君達がもう少年でなくなった後でも—そうすれば神様は君達を助けてくださいます。君たちの友 ロバート・ベーデン・パウエル

2009年1月 高畠 潔編
「ベーデン・パウエル夫妻メッセージ集」より



震災の記憶を風化させない

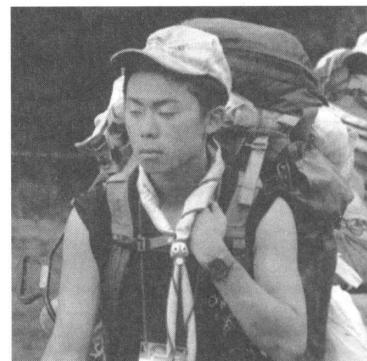
守谷1団が募金活動を実施

東日本大震災の発生から本年で3年となりましたが、守谷1団ではその記憶を風化させないために、継続して募金活動を行っています。今年は、さる3月9日にスカウト25名、指導者・保護者20名が守谷市内4か所で募金活動を行いました。集まった募金は4月3日にスカウト8名、指導者5名が茨城県庁を訪れ、橋本昌知事へ義援金として贈呈しました。募金活動は、今回で4回目となります。市民の皆さんには、まだ震災で苦労している人のことは忘れていないとの感想があつた。

日大文理学部弁論大会(中国語)で3位入賞!! —古河第1団 ローバースカウト・林 将之君—

平成25年12月7日 日本大学文理学部の弁論大会が開催された。この大会に出場した古河第1団の林 将之君は中国語で「私のボイスカウト活動」と題して報告し、見事第3位に入賞した。

彼は入隊以来、積極的にスカウト活動に取り組み、その姿勢は他の模範であり、最近はWB研修所を修了し、指導者への道を歩んでいます。論文は日本語で1,200字、中国語で900字からなる文章で、創設者ベーデンパウエルから、その活動に参加した世界の有名人の紹介、活動内容について報告している。活動内容は主にキャンプ、募金活動、清掃活動、ハイキングと国際交流であるが、特に16NJでの海外参加のスカウトとの交流が楽しく、23WSJにはぜひ参加したいとの感想で結んでいる。この入賞を期に今後の彼の活躍を期待したい。



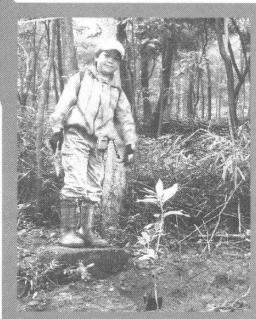
「日日の善行」を実践スカウト・隊 年次総会で表彰

「日日の善行」はボーイスカウト運動の重点目標であり、スカウト・指導者のひとり一人が実践を継続することが県民全体にまで広がるよう努力中であります。今年度の年次総会において3個人と5個隊が表彰されました。

善行の内容	所属団名	所属隊	氏名	隊長名
あいさつの励行	水戸第1団	カブスカウト隊	白井 文乃	峯島 清美
家庭、学校、隊集会でのあいさつを率先して実行し活動を元気にしてくれています。				
ペットボトルのキャップ集め	水戸第1団	カブスカウト隊	戸張 沙良	峯島 清美
今、「人の役に立ち、自分にできること」を調べてから活動を開始し、継続している。				
自然環境保護活動の実践	牛久第1団	カブスカウト隊	小瀧 亮宙	柳町 徹
自然保護の意識を持ち、資源保護、植樹、鳥類の保護やつくば市のスタイルメーカーとして地域の自然に触れ、学び、実践活動を小学1年生の時から継続して実践。				
重度障害者施設の学園祭に参加	水戸第5団	カブスカウト隊		関原 仁美
「あけぼの学園」学園祭に魚釣りゲームの準備・運営を30年以上の間、継続して実施。				
重度障害者施設の学園祭に参加	水戸第5団	ボーイ隊		木村 明夫
「あけぼの学園」学園祭への参加者用の臨時駐車場の整理を35年以上継続して実施。				
特別養護老人ホームへの慰問	牛久第2団	ビーバー隊		黒木 直江
5年前から特別養護老人ホームを訪問して、ゲームや歌・劇等の発表を継続して実施。				
特別養護老人ホームへの慰問	牛久第2団	カブ隊		岡 竜司
5年前から特別養護老人ホームを訪問して、ゲームや歌・劇等の発表を継続して実施。				
特別養護老人ホームへの慰問	牛久第2団	ボーイ隊		金子 俊之
5年前から特別養護老人ホームを訪問して、ゲームや歌・劇等の発表を継続して実施。				



茨城県連盟オリジナルの「日日の善行キーホルダー」です。ボーイスカウト振興茨城議員連盟の助成金で作成されたものです。皆さん、キーホルダーを活用して共に善行を行いましょう。キーホルダーを紛失したり、古くなった時は隊長に話してください。いつでも県連に用意しております。



一般財団法人ボーイスカウト茨城県連盟維持財団からの近況報告

新公益法人制度への移行を5年前から進めてきましたが、4月1日に一般財団法人ボーイスカウト茨城県連盟維持財団として登記を完了しました。一般財団法人へ移行したことにより、基本財産の運用が可能となりました。

明年、第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）が山口市のきらら浜で開催されることになりましたが、大会の運営に関して日本連盟より、茨城県連盟には総額280万円の賛助資金の要請がありました。当財団では、23WSJ参加関係者の為に「是非とも援助をしよう」との立原理事長の呼びかけにより、基本財産を運用して日本連盟の要請に応え賛助することとしました。

茨城の全ての人々がボーイスカウト運動を理解し、指導者が真摯に青少年の教育とスカウト活動に取り組めるよう、今後も、出来る限りの支援をしたいと切に願っていますので、一般財団法人ボーイスカウト茨城県連盟維持財団へのご支援を、より一層賜りますようお願いいたします。